

お問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部海洋情報課  
海洋空間情報室  
主任海洋空間情報官 長岡 継  
03-5500-7132



平成26年8月1日  
海上保安庁

## 「海洋台帳」の延べアクセス数が1,000万回を超えました

海上保安庁が運用している「海洋台帳」は、平成24年5月の公開以来、掲載情報の追加や機能強化を重ねてきました。そして、本年7月に延べアクセス数が1,000万回を超えました。

「海洋台帳」は、主に海域の利用状況を把握することを目的に、内閣官房総合海洋政策本部の総合調整の下に政府一体として構築されたインターネット上のGIS（地理情報システム）サービスです。船舶通航量に関する情報など、政府機関が保有する約100項目に及ぶ様々な情報（別添「掲載情報項目例」参照）を地図上に重ねて表示（可視化）することで、利用者が各海域の利用状況を迅速・的確に把握することができます（付図1参照）。例えば、これまで各関係自治体における海洋再生可能エネルギー実証フィールド選定作業等においても幅広く利用されてきました。

「海洋台帳」は、平成24年5月の公開以来、海洋再生可能エネルギー情報や船舶通航量統計データなど掲載情報を追加するとともに、利用者が保有する独自データを「海洋台帳」に読み込んで、容易に地図上で重ねて表示・参照し、且つ保存する機能強化（付図2参照）などを重ねてきました。

また、これまで利用する際はAdobe社のFlash Playerが必要でしたが、本年6月からJavaScript版を公開しており、Flash Playerがインストールされていなくても利用できるようになりました。

このように、徐々に内容の充実を図ってきた「海洋台帳」は着実に利用数を伸ばし、本年7月、遂に延べアクセス数が1,000万回を超えました（付図3参照）。

当庁では、今後とも掲載情報の追加及び機能の強化など、更に「海洋台帳」を進化させていきたいと考えています。

### 【海洋台帳の主な掲載情報の追加と機能強化】

平成24年5月	公開	※掲載情報52項目
平成25年3月	海洋再生可能エネルギー情報等の追加	※掲載情報97項目
平成25年5月	ユーザー保有データの入・出力機能の追加、及び船舶通航量統計データ等の追加	※掲載情報約100項目
平成26年1月	背景地図にWebメルカトル図法（投影）を採用	
平成26年6月	JavaScript版「海洋台帳」を公開	
平成26年7月	延べアクセス数が1,000万回を超える	

※「海洋台帳」のURL: <http://www.kaiyoudaichou.go.jp/>

## ◆掲載情報項目例

- 社会情報   
史跡、名勝、海水浴場、潮干狩り場、  
漁業権区域、国立公園区域など
- 海事情報   
港則法区域、港湾区域、航路など
- 船舶通航量
- インフラ情報   
洋上風力発電所、海底ケーブルなど
- 海洋情報   
海流、潮汐、水深、水温、塩分など
- 海洋再生可能エネルギー情報  
ポテンシャルマップ、報告書など

計 約100項目

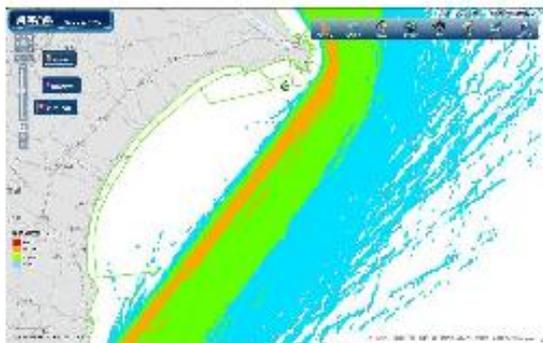
# ◆ 「海洋台帳」 表示例



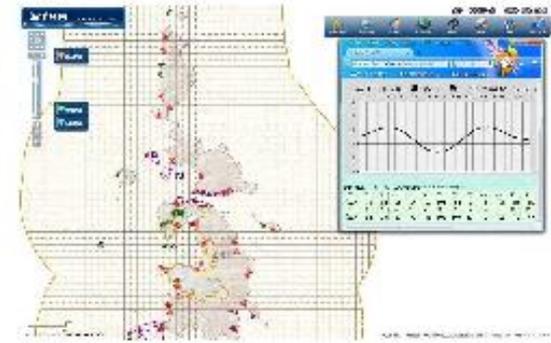
港則法区域、航路、  
漁業権区域等



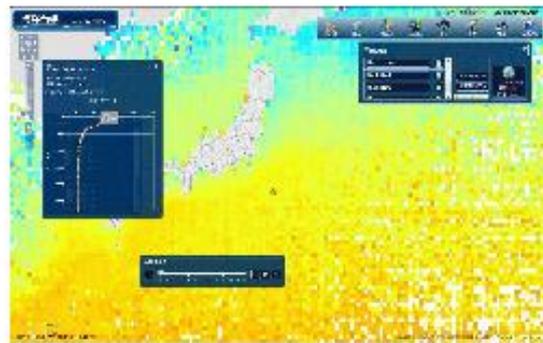
海水浴場、史跡、名勝、  
潮干狩り場



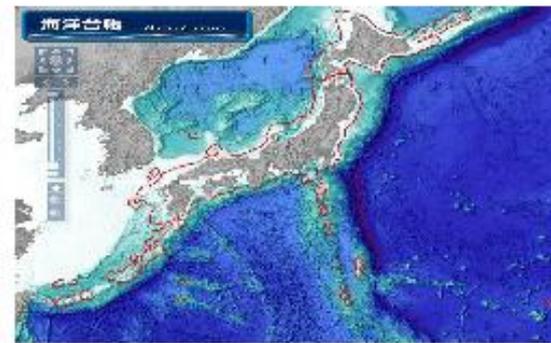
船舶通航量と漁業権の  
重ね合わせ



国立・国定公園、動植物生息域  
と潮汐の重ね合わせ



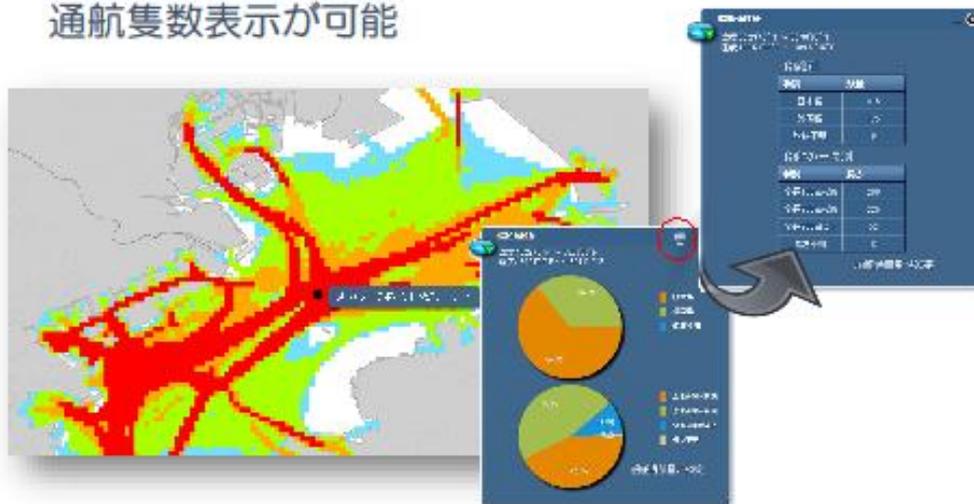
水温と塩分の分布



日本周辺の海底地形と領海線

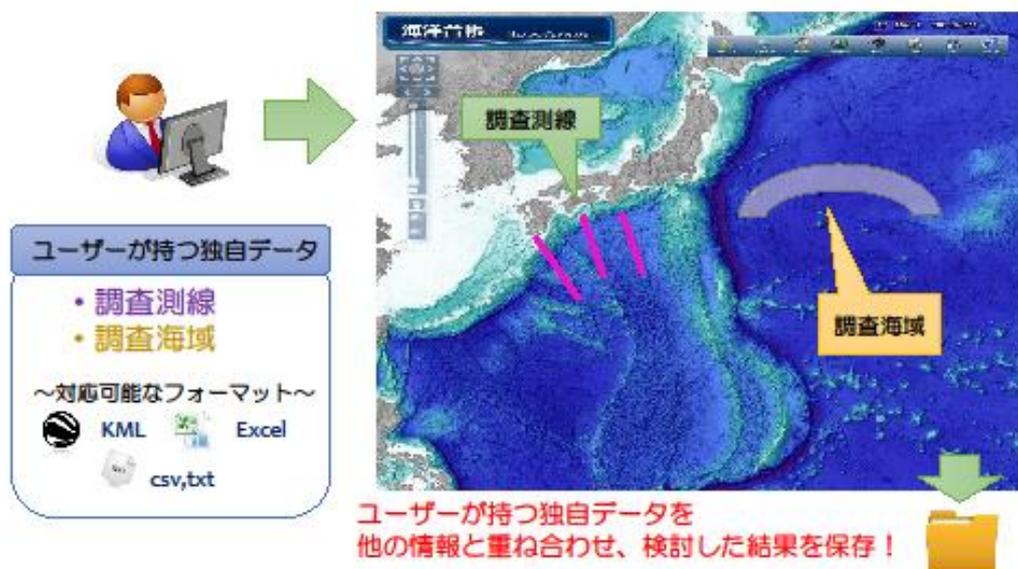
## ◆船舶通航量の統計データの表示が可能

- ▶背景画像による提供、及び任意の地点の船籍、全長別の通航隻数表示が可能



## ◆ユーザーが持つ独自データの読み込み、修正、保存が可能

海洋台帳は「自分が持つデータ」を重ねられます！



## 海洋台帳の延べアクセス数の推移

